

【オリジナルジングル台本03】

『夢の中の夢』

作：涼城えみ

○登場人物

トイピー モコモコ毛玉の妖精さん。夢の世界の案内人。

女の子。ちょっと毒舌。

みこ 働き疲れている新卒OL。夢の中でもウツカリ働いてる。

○タイトルコール

トイピー 「みこちゃん…！ みこちゃん起きて！

ジングルコーナー始まっちゃうっぴー！」

みこ 「んん…はっ！いけない！ ウツカリ寝てた…！

タイトルは『夢の中の夢』だよ！」

○本編

みこ 「ふあああ…久しぶりによく寝たなあ…身体がかるーい！

…って…あれ？ここは…？」

トイピー 「みこちゃん！ やっと起きたっぴね！」

みこ 「わあ！な、なに？！ 毛玉が喋った…！」

トイピー 「もー！ まだ寝ぼけてるっぴ？

早く原稿を届けないと、ヒビキーネに怒られるっぴよ！」

みこ 「げ、原稿…？ ひびキーね…？」

トイピー 「ほら、はやくはやく！ はやくするっぴー！」

みこ 「わー…！ まってまって！ あなた誰？

てか、なに？！ 「ここ雲の上？！ 押さないで！ おちやうからー！」

トイピー 「みこちゃん、それ本気で言ってるっぴ…?」

みこ 「本気も本気!なーんにも分かんないんだけど!あなた何なの?!」

トイピー 「う、うわー!!! みこちゃんがボケたー!!!」

いや、でもその兆候はあったような気もするっぴね…」

みこ 「未確認生物がさりげなく失礼…!」

トイピー 「冗談だっぴ♪ 忘れちゃったのなら仕方ない!

改めて自己紹介するっぴ! ぼくの名前はトイピー!

みこちゃんの相棒だっぴ!」

みこ 「相棒?」

トイピー 「今みこちゃんは、出来立てのラジオ原稿を

ヒビキーネに渡しに行くところだったっぴ!

だけどウツカリさんだから…」

みこ 「あ、ああ…そうだ。

私、ヒビキーネさんに原稿渡しに行くのに急いで転んで…

あー! 段々思い出してきたー!」

トイピー 「ウツカリさんだっぴ!」

みこ 「いいから早く原稿届けなくちゃ…!」

トイピー 「同感だっぴ! でも…1つ問題が発生中だっぴ…」

みこ 「え?問題? なになに?」

トイピー 「みこちゃん、身体が段々雲に埋もれていつてるっぴ…

このままだと地上にまっ逆さまだっぴ!」

みこ 「な、なにー?! それ、早く言ってよー!

はわわわ、お、おちるううううっ…!」

トイピー 「みこちゃーん! (遠退く声)」

みこ 「はっ!ここは…ベットのし…? なんだあ…夢かあ…良かったあ…

もう私にはチャンス無いのかと思ったよ…」

トイピー 「夢で良かったっぴね♪」

みこ 「うん…つてええええええ?!!」

○エンディング

みこ 「竹内順子のTake a Chanceラジオ!ダッシュ!」

トイピー 「響ラジオステーションで好評配信中だっぴ!」

みこ役 ○○と、

トイピー役 ○○が、お送りしました!